



人権啓発課
☎ 32-1708 FAX 32-0110
✉ jinkenkeihatsuka@city.uki.lg.jp

「あなたらしさが、社会のチカラ」男女共同参画週間(6月23日～29日)

不知火美術館・図書館の
おすすめの本を紹介

だれもが、職場で、学校で、地域で、家庭で、それぞれの個性や能力を発揮できる「男女共同参画社会」を実現するためには、行政だけでなく、私たち一人ひとりの取り組みが必要です。

私たちのまわりの男女共同参画について、この機会に考えてみませんか。



市では、男女共同参画社会への理解を深めるため、啓発パネル展を開催します。

【啓発パネル展】

期間

6月18日(土)～30日(日)

場所

ウイングまつばせロビー

「ぼくのスカート」 / 作・絵：ピーター・ブラウン 監・訳：日高庸晴



なぜかいつも服を着ないフレッドくんは、ある日、お母さんのクローゼットでスカートを見つけます。着てみると「とってもいい感じ」。その姿を見た家族は、否定することなく受け入れ、一緒に楽しみます。子どもの人権と多様性をやさしく描いた絵本です。

「女子のコミュカ」 / 著：小田桐あさき



人に気を遣い過ぎたり、自分の気持ちを言葉にするのが難しいと感じたりしている人にそっと寄り添う一冊。大切なのは、無理に相手に合わせず、自分の本音に気づき、少しずつ伝えていくこと。その積み重ねが、家庭や職場、社会での心地よい関係づくりにつながります。

消費者トラブル
注意報
工商観光課 ☎32-1604

購入中に「さらにお得なご案内」!? 巧妙化する定期購入のトラブルにご注意

- ・ネット販売で「1回限り」とあった化粧クリームを注文したのに2回目が届き定期購入だと気付いた
- ・インフルエンサーが「定期縛りなし」と勧めていた商品を申し込んだところ、クーポンが表示され、意図せず定期購入となってしまった

! アドバイス

- ・注文する前に販売サイトや「最終確認画面」の表示をよく確認しましょう
- ・契約条件に関する記載はスクリーンショットを保存するなどの対策を取っておきましょう

相談は 宇城市消費生活センター ☎33-8277
消費者ホットライン ☎188(いやや!)へ

かしこくみんなの
年金学
熊本東年金事務所 ☎096-367-2503
今月の年金相談は **要予約**
2日(日) 10時～15時 新館第5会議室

免除や納付猶予を受けた人へ 国民年金保険料の追納はお早めに

保険料の免除・納付猶予や学生納付特例の期間がある場合、保険料を全額納付したときに比べ、老齢基礎年金が減額となりますが、指定の期限までの追納で、年金額を増やすことができます。

また、社会保険控除により、所得税・住民税が軽減されます。

追納の方法

- ①医療保険課・年金事務所で申込書を取得
※日本年金機構のホームページからダウンロードもできます
- ②追納申込書を医療保険課または年金事務所に提出(本人確認書類が必要) 詳しくはこちら
- ③年金事務所から届いた納付書で納付

※追納できるのは、追納が承認された月の前10年以内の免除・猶予期間に限られます。



プール情報

宇城市民プール・

三角 B & G 海洋センタープールがオープン

期間 7月1日(土)～8月31日(日)

午前の部 10時～13時
午後の部 14時～17時
夜間の部 18時～20時

休館日 毎週月曜

※市民プールは月曜日が祝日の場合は翌日

利用料 高校生以上 200円
中学生以下 100円

※スイミングキャップが必要

所在地 宇城市民プール

松橋町豊福 1786
B&G 海洋センタープール
三角町波多 2864-32

☎ 文化スポーツ課 ☎32-1945

三角 B&G 海洋センター ☎52-2488

不知火温水プールは

一年中楽しめる温水プールです

25メートルの5コースを、泳いだり歩いたり快適に楽しめます。

開館時間 10時～21時

休館日 毎週木曜(祝日の場合は翌日)

年末年始(12月28日～1月4日)

利用料 高校生以上 300円
中学生以下 150円

※1回の利用時間は最長2時間

※スイミングキャップが必要

所在地 不知火町高良 2348

☎ 不知火温水プール ☎33-6678

郷の記憶をたどる

文化スポーツ課 ☎32-1954

私たちが暮らす宇城市の郷土にまつわる
さまざまな文化の魅力を発信します



郷土資料館 入館料無料

開館時間 10時～17時

休館日 月・木曜(祝日の場合はその翌日)

住所 豊野町糸石3818 ☎45-2102

解説! 蒙古襲来絵詞 - これであなたも元寇博士! -



文永の役で功績となる先駆けを行った竹崎季長は、鎌倉幕府から恩賞に関する連絡が来ることを心待ちにしていたが、半年以上が経っても連絡がないことにしびれを切らし、鎌倉まで出向いて幕府に直訴することを決意します。一族は反対し旅費を出してくれなかったため、馬具を売って旅費を作り、2人の供だけを連れて出発しました。途中、烏帽子親(成人の儀式の際に烏帽子を被せて仮親となる人)である長門国(山口県)の三井季成に会ったのちに鎌倉に入りますが、恩賞の配分を決定する恩賞奉行にはなかなか会わせてもら

えません。鶴岡八幡宮で直訴の成功を祈りながら待ち続け、到着から2カ月後ようやく恩賞奉行の安達泰盛に面会することができました。季長は、文永の役でいかに自身が命を懸けて戦ったかを説明し、その熱意に安達泰盛も訴えを受け入れ、執権(鎌倉幕府の最高権力者)北条時宗に伝えることを約束しました。(詞書5～7より)

郷土資料館 展示情報
展示 蒙古襲来絵詞(複製品)(絵9)
期間 6月2日(土)～7月20日(日)

